

事務事業評価表 平成24年度

政策 環境と調和する都市の構築
 施策 水とみどりの保全と創出活用
 基本事業 水とみどりの保全

事業名 **交通対策管理経費**

[0917]

部名	企画政策部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	企画課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 野幌森林公園内の基線への一般車両の交通量を減少させ、自然環境の保全を図る。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 野幌森林公園内の基線の入り口等に看板を設置し、一般車両の通行量の抑制を図るとともに、交通量調査を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	人口	人		122,138	121,705	121,705
対象指標2						
活動指標1	交通量調査	回		2	2	2
活動指標2						
成果指標1	交通量(自動車)	台		243	184	184
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	0	45	48	36
正職員人件費(B)		千円	0	1,209	1,204	1,214
総事業費(A) + (B)		千円	0	1,254	1,252	1,250

費用内訳	
23年度	需用費 13千円、委託料 35千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

野幌森林公園内の良好な自然環境を維持・保全するためには妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

一般車両の通行量を抑制することにより、野幌森林公園内の自然環境が維持・保全されている。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

平成16年度に通行抑制看板を設置して以来、一般車両の通行量は年々減少傾向を示している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

看板設置により、成果があがっているが、交通量をゼロにすることは難しい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

必要最低限の費用のためコスト削減余地はない。